

■ 著者紹介

増田 啓子 (ますだ・けいこ)

1948年生まれ。法政大学文学部人文科学研究科修了，法政大学文学部助手，筑波大学地球科学系準研究員，国立環境研究所主任研究員を経て，現在，龍谷大学経済学部教授。専門は，環境気候学。

第2章，第3章3-4執筆

【主な著書・論文】

「温暖化の影響の検出と監視」原沢英夫／西岡秀三編著『地球温暖化と日本（第3次報告）—自然・人への環境予測』（古今書院，2003年）

「生物季節」吉野正敏／福岡義隆編『環境気候学』（東京大学出版会，2003年）

「生物季節」気候影響・利用研究会編『日本の気候第2巻』（二宮書店，2004年）

「地球温暖化防止の課題と展望」〔共編〕（法律文化社，2005年）

「地球温暖化とヒートアイランド現象による温暖化—世界・日本・近畿における気温の長期変動」『環境技術』37巻6号（2008年）

「過去からみた現在の温暖化気候」『環境技術』37巻6号（2008年）

北川 秀樹 (きたがわ・ひでき)

1953年生まれ。京都大学法学部卒業，博士（国際公共政策・大阪大学）。京都府庁文化芸術室，地球環境対策推進室などを経て，

現在，龍谷大学政策学部教授。専門は，環境政策，中国行政法。

第1章，第3章3-1～3-3・3-5～3-10，第4章執筆

【主な著書・論文】

『病める巨龍・中国』（文芸社，2000年）

「中国における戦略的環境アセスメント制度」『現代中国』78号（2004年）

「地球温暖化と地域森林政策」『人間と環境』30巻3号（2004年）

「行政法」西村幸次郎編『現代中国法講義〔第3版〕』（法律文化社，2008年）

『中国の環境問題と法政策—東アジアの持続可能な発展に向けて』（編著）（法律文化社，2008年）

「対生態移民政策中的環境影響進行評価検証の必要性」王静愛／小長谷有紀／色音主編『地球環境與民俗文化遺産』（知識産権出版社，2009年）

『中国の環境法政策とガバナンス』（編著）（晃洋書房，2012年）